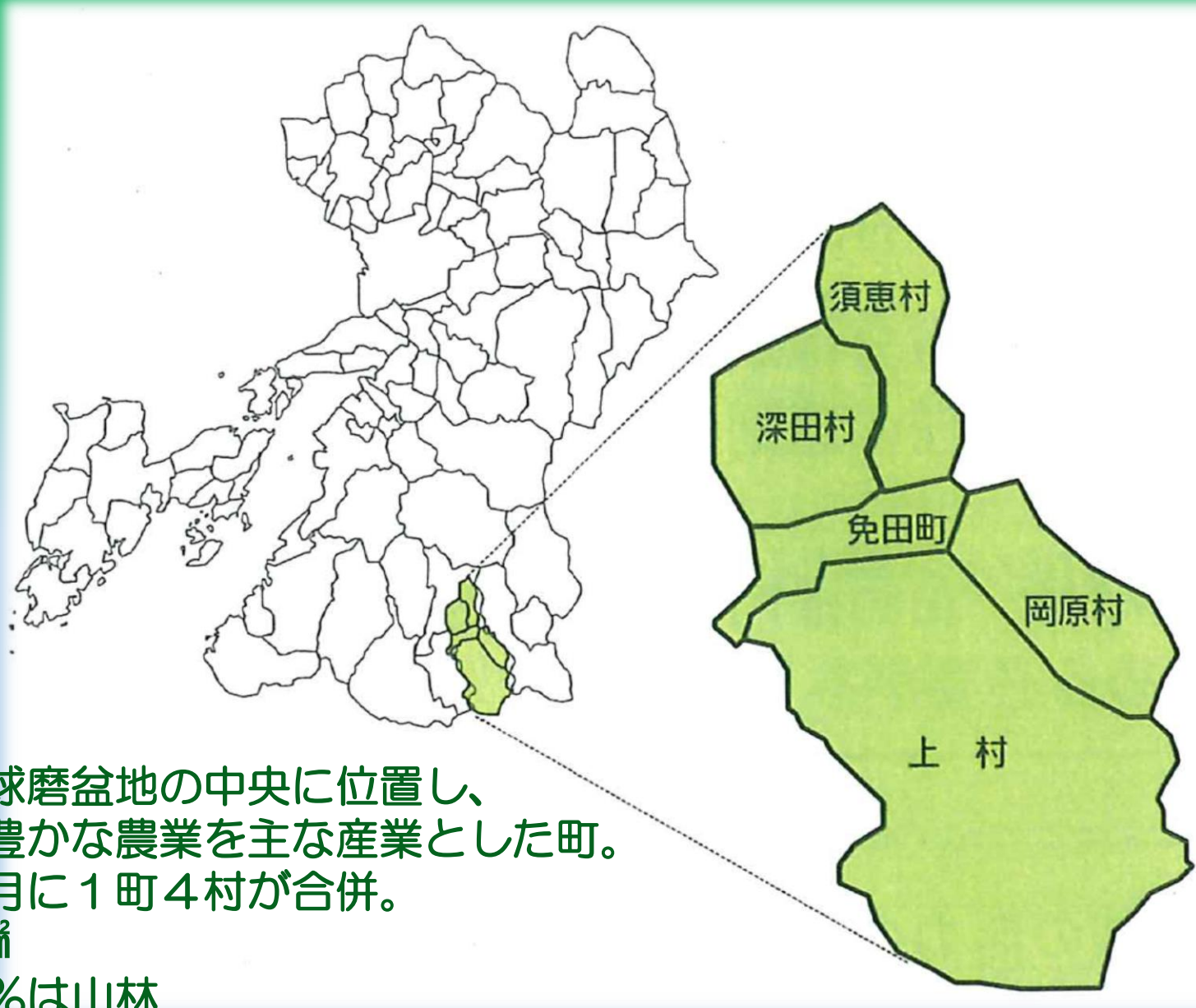


あさぎり町 林業3Kプロジェクト



あさぎり町の概要①



- ・ 熊本県の南部球磨盆地の中央に位置し、自然と人情が豊かな農業を主な産業とした町。
- ・ 平成15年4月に1町4村が合併。
- ・ 面積159.56km²
- ・ 面積の約65%は山林

あさぎり町の概要②



- ・平成15年に免田町、上村、岡原村、深田村、須恵村の5町村合併により誕生。
- ・熊本市から、車で1時間30分ほど。
- ・人吉球磨スマート インターチェンジが令和元年度8月に開通し、インターから20分。



あさぎり町の現状①

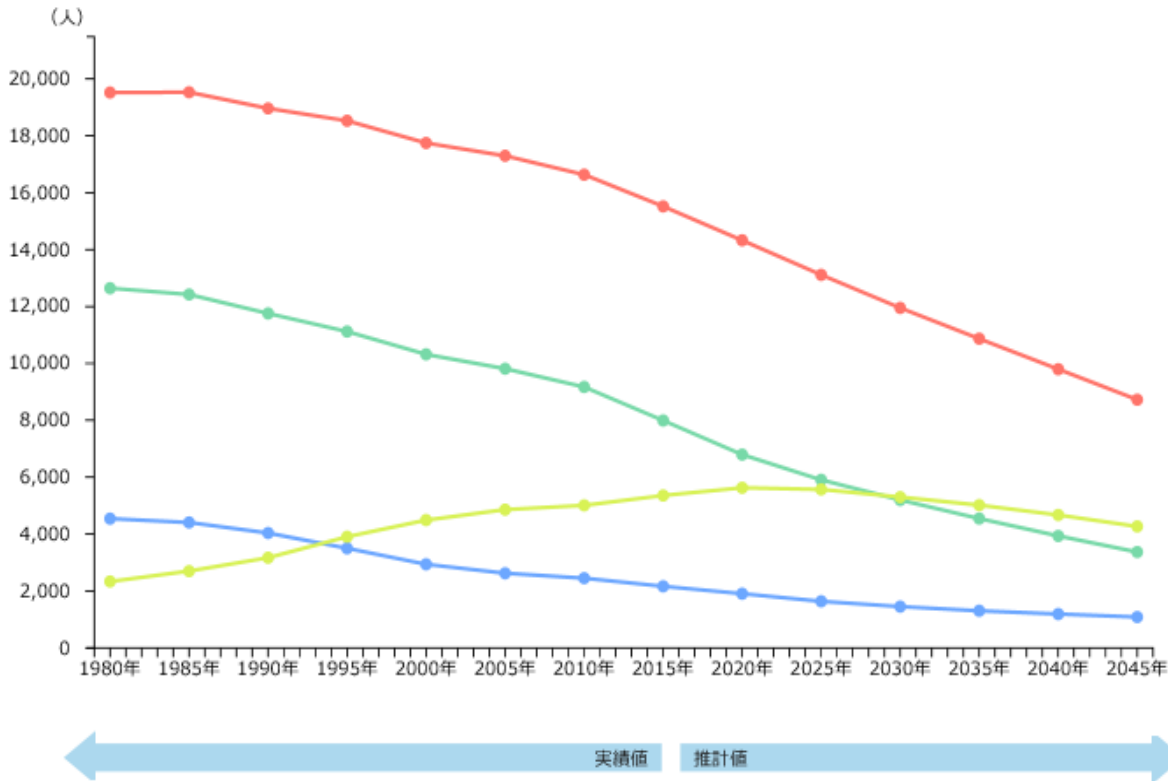


RESAS

人口推移

熊本県あさぎり町

● 総人口 ● 年少人口 ● 生産年齢人口 ● 老年人口



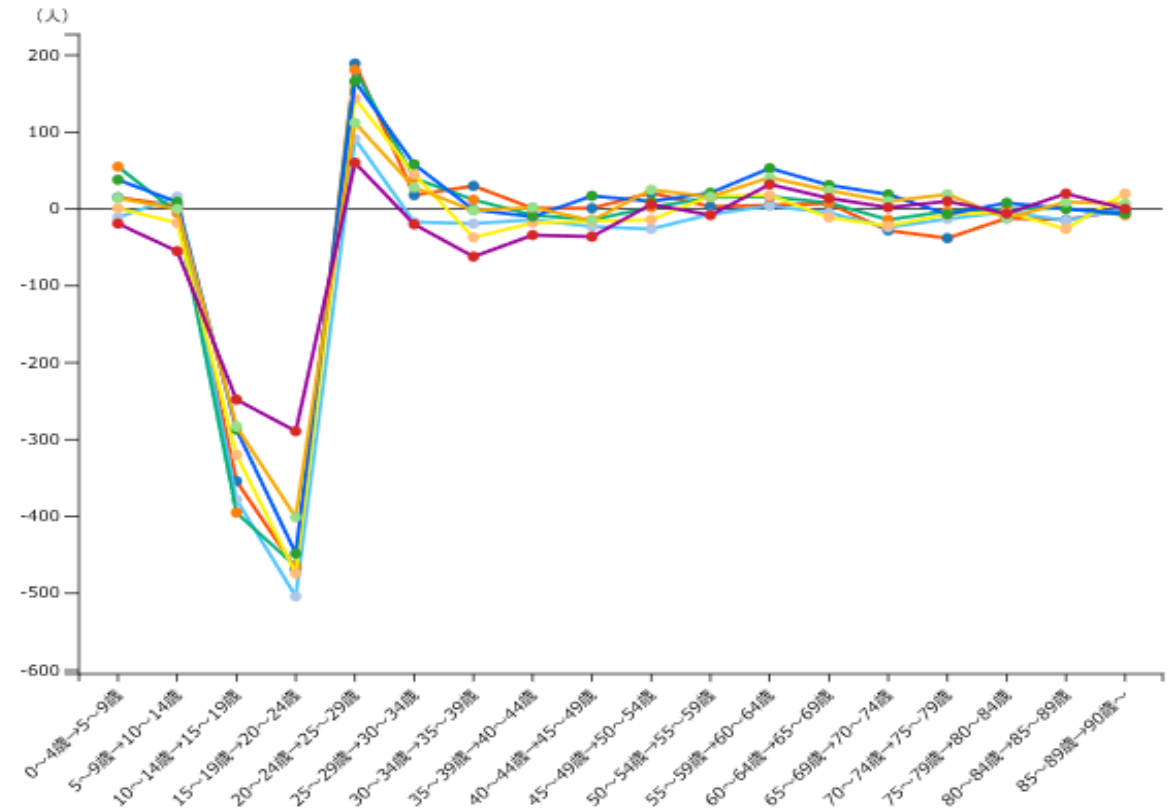
- ・ 2045年には、2015年の約6割近くにまで減少し、高齢化が進んでいる。
(高齢化率 34.52%⇒48.95%)

RESAS

年齢階級別純移動数の時系列分析

熊本県あさぎり町

● 1980年→1985年 ● 1985年→1990年 ● 1990年→1995年 ● 1995年→2000年 ● 2000年→2005年 ● 2005年→2010年 ● 2010年→2015年



- ・ 15歳～24歳の若者が流出
- ・ 進学や、就職の際の流出が顕著



労働人口の減少、高齢化。

あさぎり町の現状②



地域経済循環率

57.4%



地域経済循環図

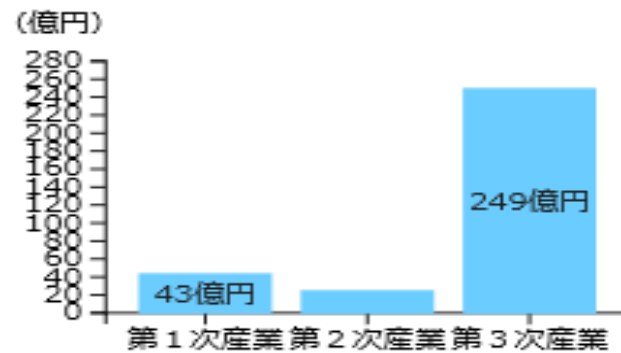
2013年

指定地域：熊本県あさぎり町

所得への分配

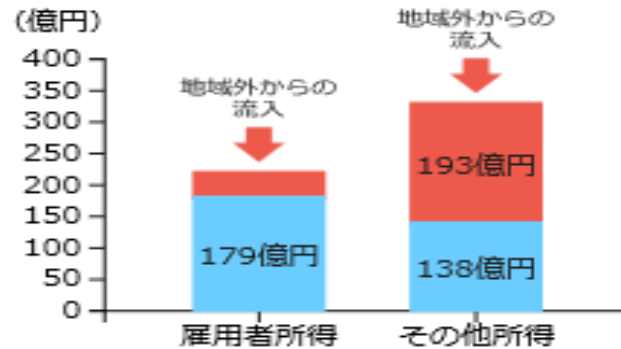
317

生産（付加価値額）



詳細を見る

分配（所得）

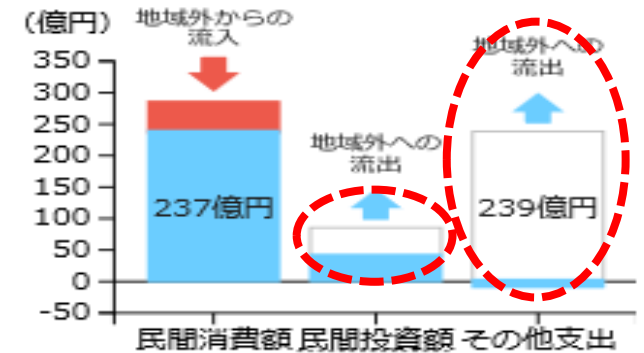


詳細を見る

所得からの支出

552

支出



詳細を見る

実に40%のお金が町外に流出している。

支出による生産への還流

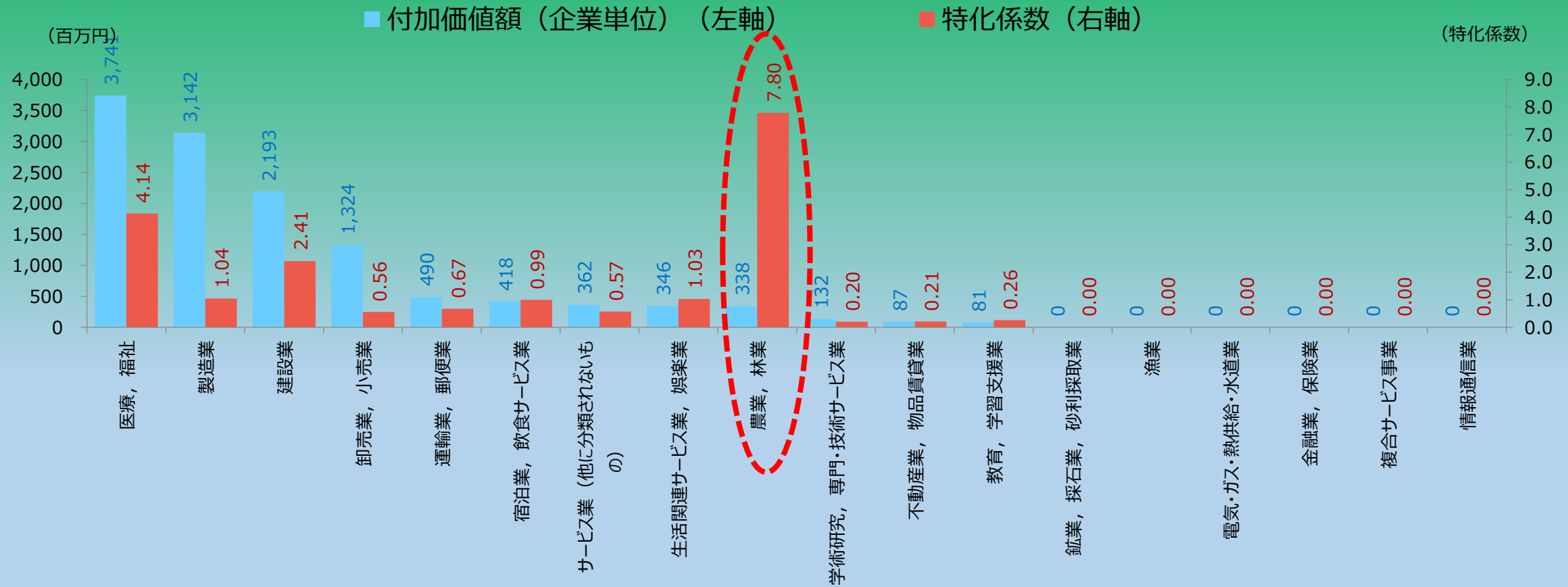
317

➡ 所得が町外で消費されている。

あさぎり町の強み①



産業大分類別に見た付加価値額（企業単位）



あさぎり町は

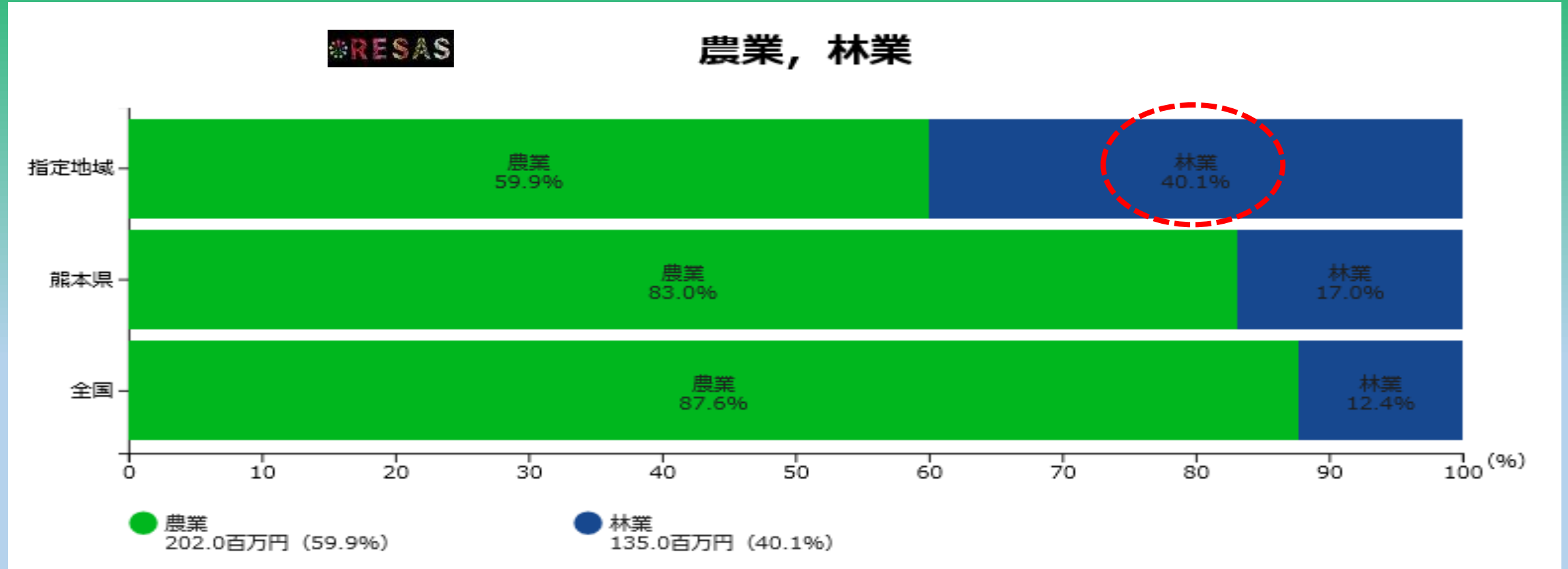
「農業、林業」の特化係数がとにかく高い！ ⇒ 強い！



あさぎり町の強み②



付加価値額（企業単位）2016年 ～産業ごとの内訳～

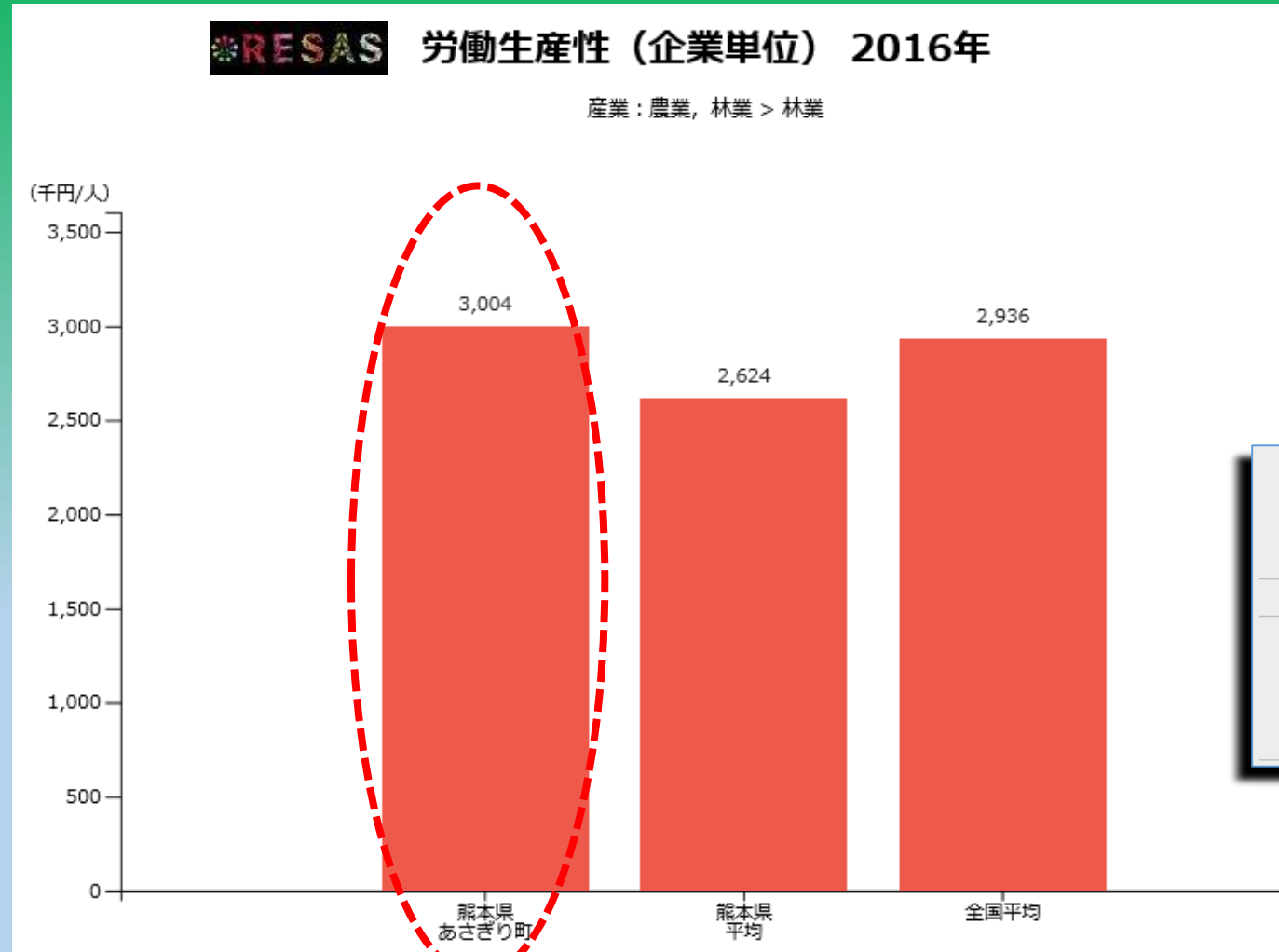


全国や熊本県と比較しても、特に林業の割合が高い！

⇒ 林業が強い！



あさぎり町の強み③



労働生産性（企業単位）順位

熊本県あさぎり町

2016年

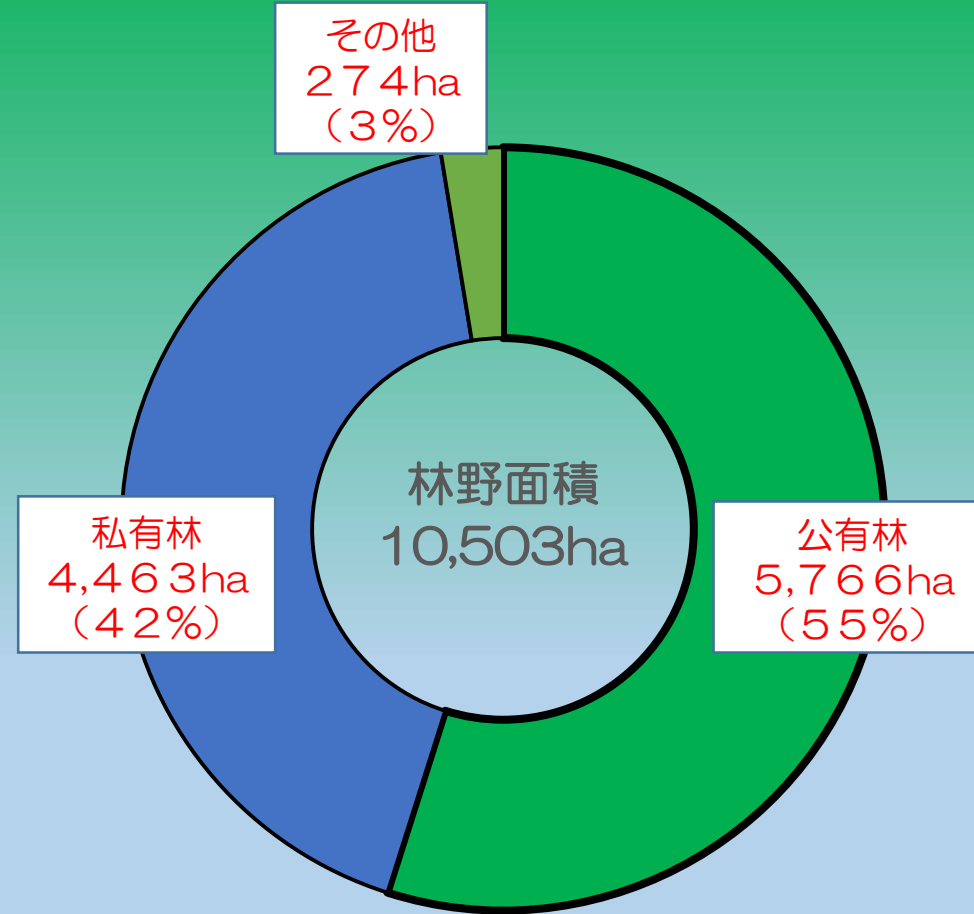
熊本県内	全国
2 位	105 位

全国や熊本県と比較しても、林業の労働生産性が高い！

⇒ やっぱり林業が強い！



あさぎり町の強み④



引用：2015年農林業センサス

公有林の割合が55%と大きい！

⇒ 公共事業による間伐等の業務が安定して見込まれる！！

⇒ 仕事がある！！！！





あさぎり町のWeak Point①

これだけ林業が強いのに・・・



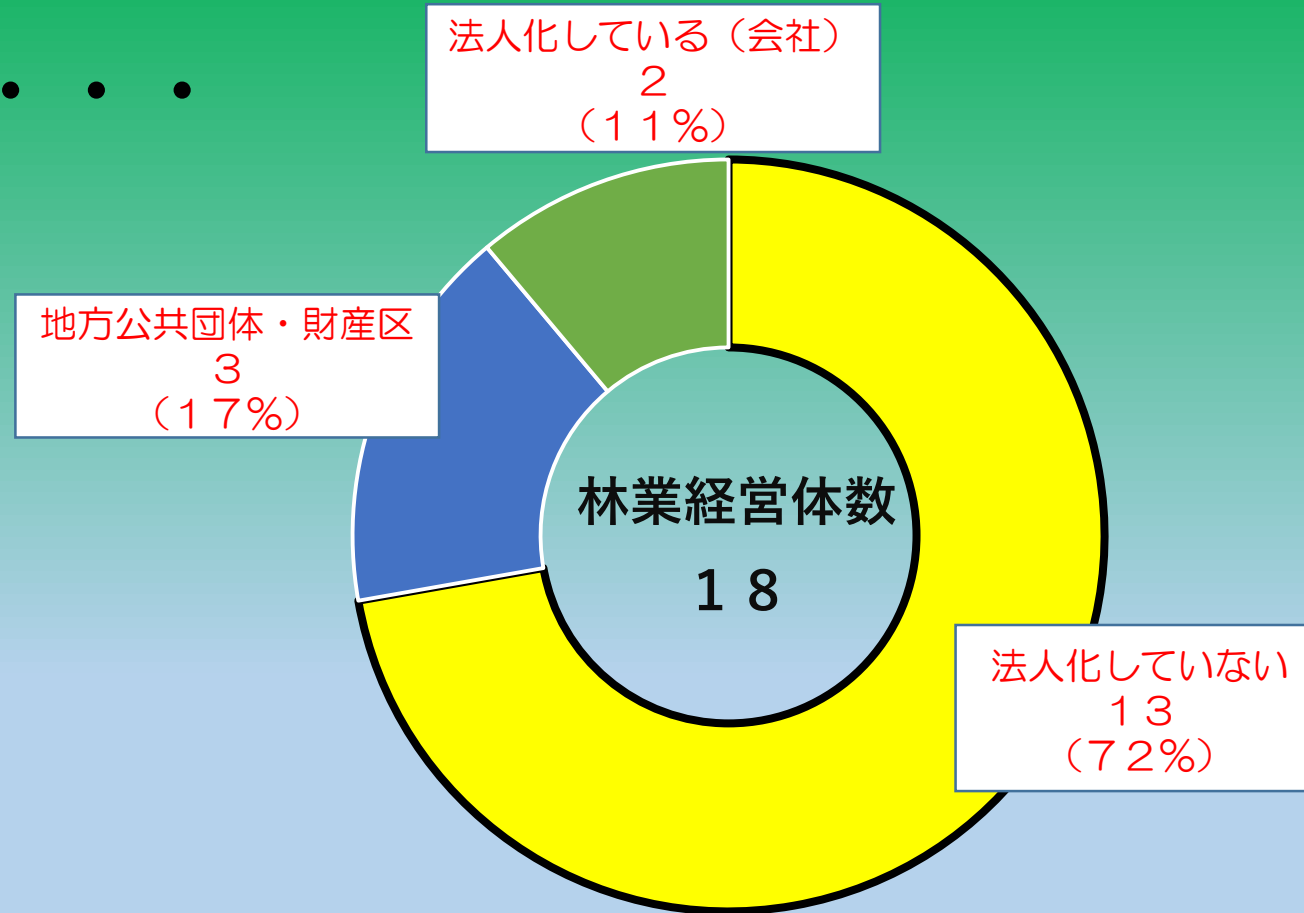
林業従事者は全体の**0.99%**しかない！

原因は、林業3K（きつい、汚い、危険）。

あさぎり町のWeak Point②



つまり・・・



引用：2015年農林業センサス

林業経営体数で法人化していない割合が72%と大きい！

⇒ 公共事業を受注できる経営体が少ない！！

⇒ 町外に仕事が出ている！！！！

ココを
改善！！

強み	弱み
・ 仕事がある ・ 特価係数が高い ・ 労働生産性が高い	・ お金が町外に流出 ・ イメージが悪い ・ 労働人口の減少、高齢化

打ち消す

強みを活かして弱みを打ち消す戦略

林業のイメージUPによる林業活性化を図る！！！！

戦略①「環境整備を強化」



山に休憩所を設置し快適に。



作業服は空冷式を着用



常に熱中症との闘い。

環境整備を町が一部支援



作業環境が改善。⇒

快適な作業の実現。

イメージ
UP↑

戦略② 「高性能機械の導入支援」



フェラーバンチャ（伐倒・集積）

立木を伐採（フェリング）し、切った木をそのまま掴んで集材に便利な場所へ集積（バンチング）する自走式機械。チェーンソーに代わり、最も危険な伐倒作業を担う。



ハーベスタ（伐倒・枝払い・玉切り・集積）

従来チェーンソーで行っていた立木の伐倒、枝払い、玉切りの各作業と玉切りした材の集積作業を一貫して行う自走式機械。



プロセッサ（枝払い・玉切り）

林道や土場などで、全木集材されてきた材の枝払い、測尺、玉切りを連続して行う自走式機械。



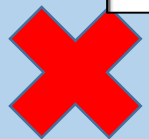
スキッド（集材）

丸太の一端を吊り上げて土場まで地引集材する集材専用の自走式機械。主として伐開された林地内で使用される。



フォワーダ（集材）

玉切りした短幹材をグラップルクレーンで荷台に積んで運ぶ集材専用の自走式機械。



機械導入経費の負担が大きい

引用：林野庁HP

導入費用の一部を町が補助



機械導入促進⇒
・省力化による女性・高齢者の就業機会を創出！
・効率化による収入増！！

イメージ
UP↑

戦略③「ICTによるスマート林業化」



資源量は現地に行って確認。

町がデータベース化



資源量の把握時間短縮 & 精度UP。⇒ 安定的な供給が可能。

イメージ
UP ↑

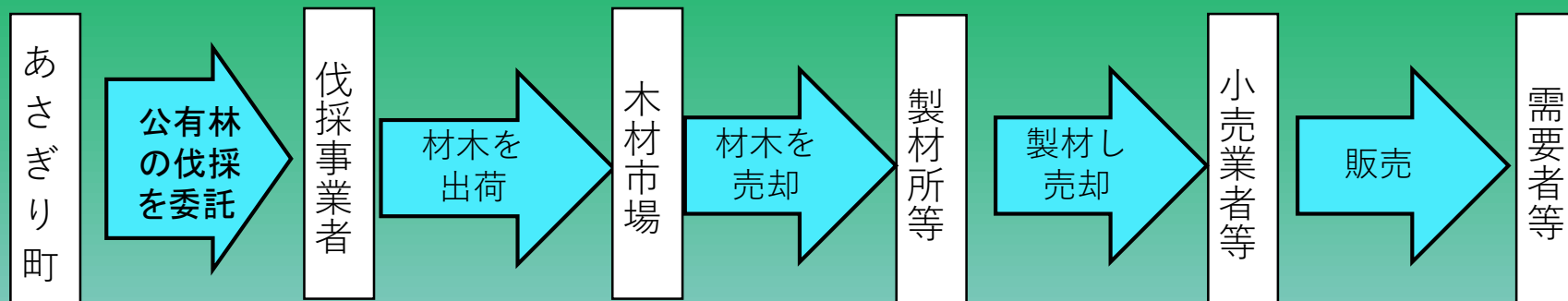
SCM(サプライチェーン・マネジメント)とは・・・

開発、調達、製造、発送、販売といった各プロセスでの在庫量や滞留時間などを削減することで、顧客には最短かつタイムリーに製品を供給し、また、業界全体としてはリードタイムの縮小、在庫の縮小、設備の稼働率向上などによるコスト削減、経営の効率化を目指す。



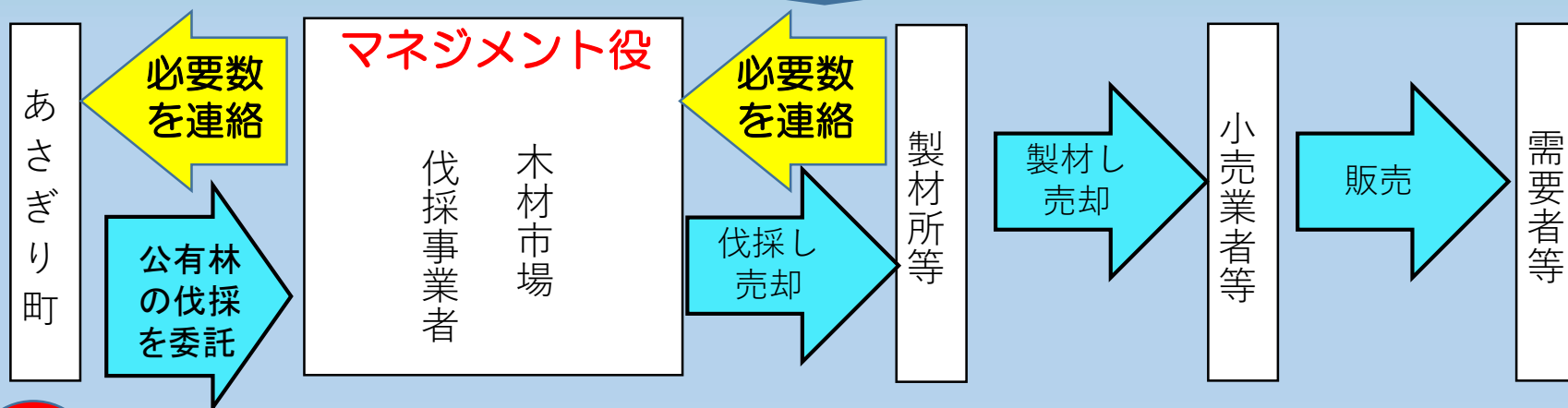
戦略④ 「流通過程のS C M化」

あさぎり町における一般的な木材流通過程



❌ 需要数以上に伐採するため在庫等が残り、生産性が悪い。

S C M化

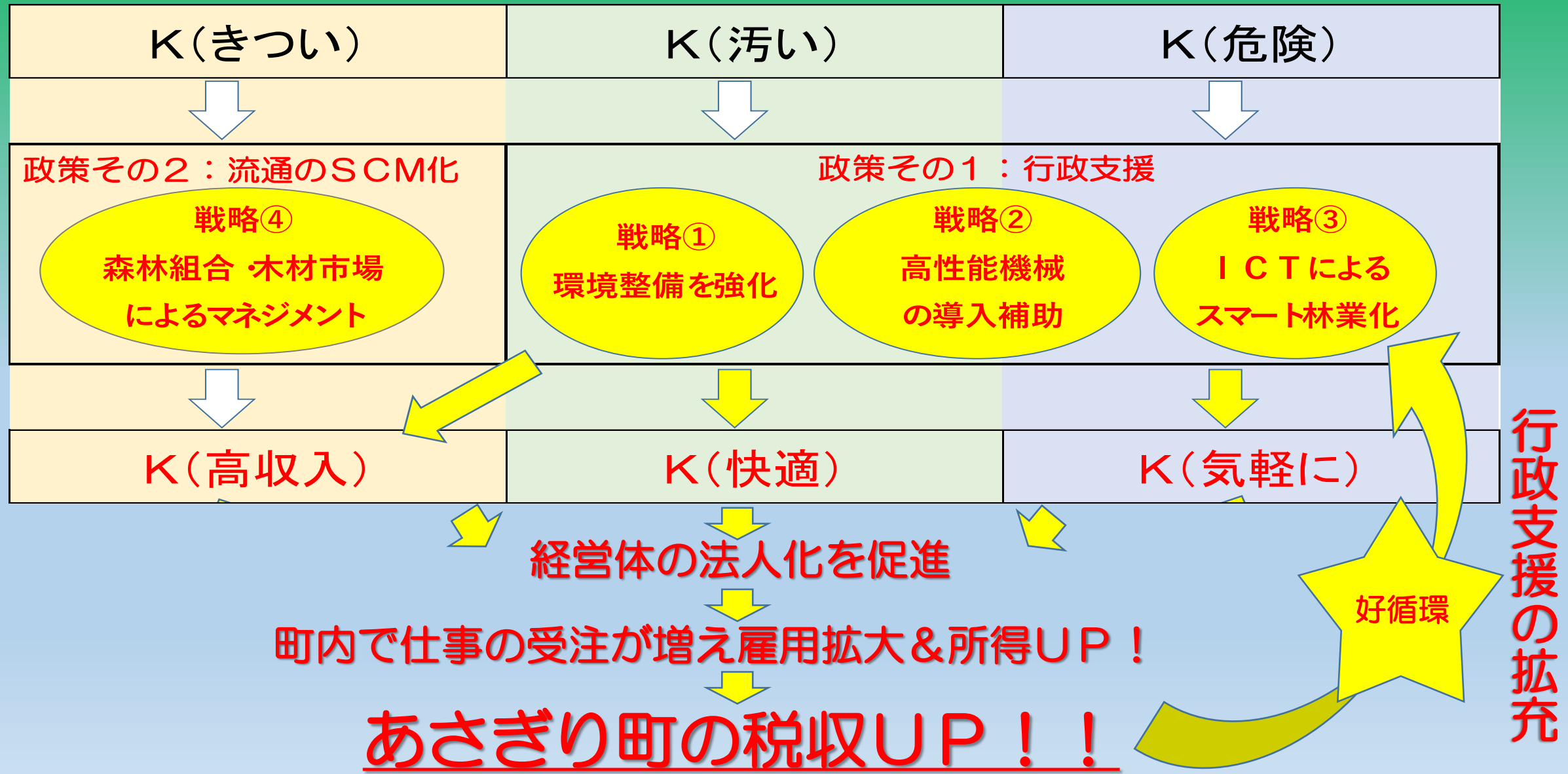


○ 必要数のみ伐採するため生産性が高い。

⇒ 余分な経費が抑えられ収入増

イメージ
UP ↑

林業3KイメージUP スキーム



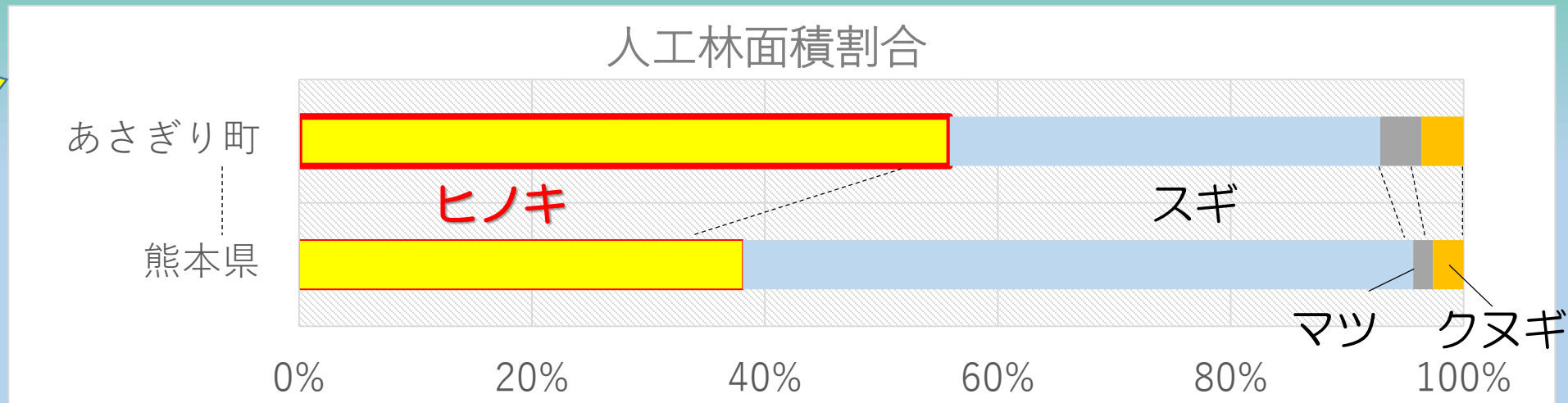
さらに・・・

さらなるイメージUP戦略

- ・熊本県がPRしている「カッコいい林業」をあさぎり町も推進していく！第1弾は・・・

「あさぎりヒノキ」のブランド化

ヒノキ率
が高い



引用：熊本県林業統計要覧を加工

ヒノキの安定供給によるブランド化を図り、町産材の
需要拡大と町内木材加工業者への経済波及効果を狙う！

政策の提案



※写真はすべてイメージです。



●林業のイメージUPで、地方創生！！

以上、

K 熊本県（くまもとけん）

K 黒木（くろぎ）

K 一宏（かずひろ）

の発表でした！